

## 西谷工業が東京都立練馬工業高等学校で出前講座 1年生176名の生徒に左官の魅力や特徴をアピール

西谷工業(株)(柳田竜幸社長)は12月14日、練馬区の東京都立練馬工業高等学校で、1年生の生徒176名に向けて左官の出前講座を行った。

出前講座は「ものづくり人材育成に関する講演会」として5、6時間目の授業を充てて行われた。冒頭、同校キャリア技術科の松浦真人主幹教諭が「本日の講演会では、左官仕事について教えていただきます。テレビ番組等を通じて見たことがあるかもしれませんが、興味のある人も、左官について知らなかった人も、この機会にお話を聞いて体験してもらえたらと思います」と挨拶し、続いて講師の紹介があった。

視聴覚室で行われた前半の座学では、初めに西谷工業の会社案内VTRを放映。引き続き、同社の印南和紀専務取締役が「左官ってなんだろう」の演題で講義を行った。印南氏は、左官について「建築物の壁塗りを行う職人のことで、いわば現場のメイクアップアーティスト」と説明し、実際に壁を塗っている映像や同社の施工事例をスライドに映しながら、左官仕事を学生たちに分かりやすく紹介。



▲挨拶する柳田竜幸社長



▲講演する印南和紀専務



▲座学のもよう



▲実技のもよう

シームレスで3次元の仕上げも可能とすることや、優れた機能性など左官材の特長にも触れた。

その後、剣道場へと移動して実技へと移り、32名の生徒がセメントモルタルの壁塗りを体験した。西谷工業の職人たちの指導のもと、参加した生徒は慣れない作業ながら懸命に鏝を使って練習架台に取り組んだ。

最後に柳田社長が「今日は少なくとも、左官という名前を覚えてもらえ

ると嬉しいです。皆さんが卒業してどこかの建設会社に入った時、様々な専門工事業の職種がある中で『あれが左官屋だよ』と言える人になって下さい」と締めくくった。

同社では、工業高校への出前講座やインターンシップの受け入れを積極的に行っており、今後も左官業のアピールや若年入職者の確保育成に注力する構えだ。